

トカラヤギの生後から1年間における体重の推移について

岡野, 香
九州大学農学部

豊後, 貴嗣
九州大学農学部畜産学科

山田, 定雄
九州大学農学部

古沢, 弘敏
九州大学農学部

他

<https://doi.org/10.15017/12687>

出版情報 : 九州大学農学部農場研究資料. 13, pp.38-39, 1991-03. 九州大学農学部附属農場
バージョン :
権利関係 :



トカラヤギの生後から1年間における体重の推移について

岡野 香・豊後貴嗣*・山田定雄・古沢弘敏・福留 功・蒲原 守

畜産研究室では、これまでにトカラヤギに関する報告を行ってきたが、例数が少なかったため生長等については十分な結論を得ていない。今回は、雌6頭、雄10頭を用いて生後から1年間の体重の推移について検討を行った。

材料および方法

材料としては、農場で得られた、4月生まれ1、8月生まれ2、10月生まれ2、および12月生まれ1頭の計6頭の雌ヤギと4月生まれ6、5月生まれ2、および10月生まれ2頭の計10頭の雄ヤギを用いた。体重は金曜日に測定したため、水曜日から翌週の火曜日までに出生したヤギを金曜日に出生したものとして取り扱った。なお、体重は出生直後より10週齢時までは毎週、その後は2週間ごとに測定した。

結果および考察

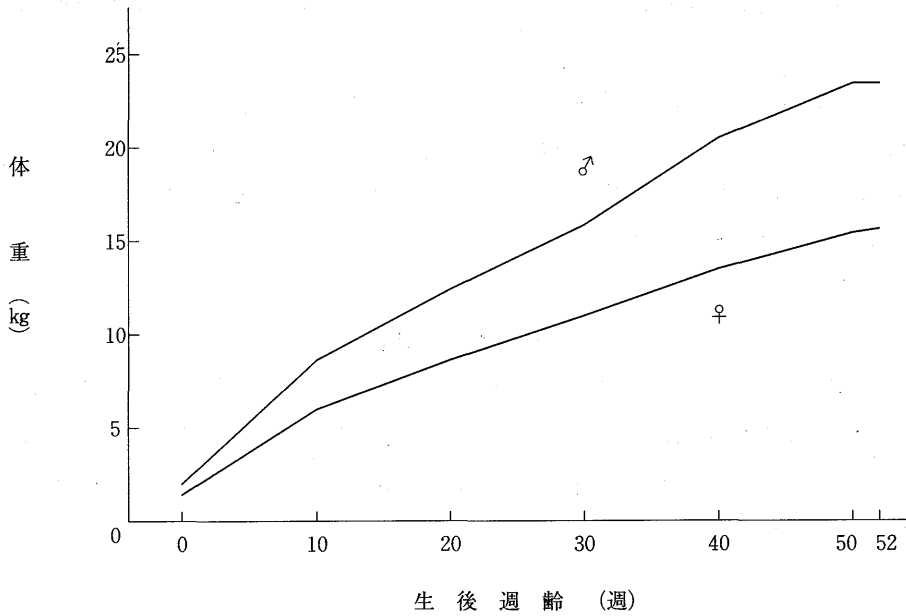
出生直後の雌ヤギの体重は第1表に示すとおり、 $1.6 \pm 0.28\text{kg}$ であり、雄ヤギの体重は $2.1 \pm 0.35\text{kg}$ であった。体重の差は週齢が進むに従って大きくなり、52週齢時（1才）では雌は $15.6 \pm 2.44\text{kg}$ であるが、雄では $23.5 \pm 1.44\text{kg}$ であり、その差は約8kgとなった。

第1表 トカラヤギにおける体重の推移

性別	週	0	10	20	30	40
雌	平均	1.6	6.1	8.7	13.5	15.6
	標準偏差	0.28	0.81	1.05	1.86	2.44
雄	平均	2.1	8.6	12.4	20.5	23.5
	標準偏差	0.35	0.75	0.80	0.80	1.44

*農学部畜産学科飼料学教室

測定した体重の推移を図示すると第1図のようになりほぼ直線的であったが、雌雄とも10～15週齢時までとその後で勾配が異なるようであった。図には10週齢ごとの体重を直線で結んであるが、測定した週齢の体重はその直線上に非常に良く一致していた。したがって、5kgに達するのは雌では約8週齢時であり、雄では4～5週齢時である。また、10kgに達するのは雌で約26週齢時、雄で約14週齢時である。さらに、雌では生後約1年で15kgに到達するが、雄ではもっと早く、30週齢時にほとんどのものが15kgに到達している。



第1図 トカラヤギの生長曲線